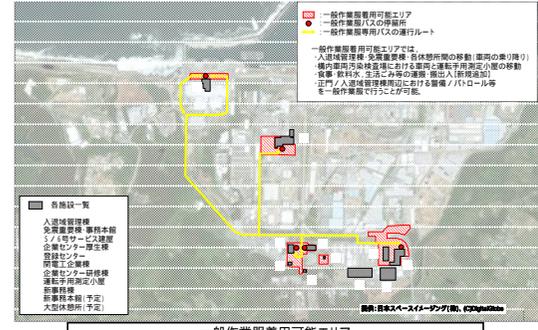


労働環境改善スケジュール

分類 番号	種別	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定												備考
			2月			3月						4月			
1	防護装備の適正化検討	(実績) ・全面マスク着用を不要とするエリアの拡大計画の検討(1/29公表) ・全面マスク着用を不要とするエリア拡大に向けた連続ダストモニタの設置検討	「敷地内線量低減にかかる実施方針」を踏まえたタンク群を含む敷地南側エリアの全面マスク着用不要化の検討												
		(予定) ・「敷地内線量低減にかかる実施方針」を踏まえた敷地南側エリアの全面マスク着用不要化の検討(平成25-27年度) ・全面マスク着用を不要とするエリア拡大に向けた連続ダストモニタの設置検討(平成26年度末設置予定) ・エリア及びへのダストモニタ設置及びダスト確認(平成27年5月全面マスク着用を不要とするエリア設定予定)	全面マスク着用を不要とするエリア拡大に向けた連続ダストモニタの設置検討												
		ダストフィルタ化: 空気中よう素131I濃度が全面マスク着用基準を下回ることを確認した上で、ダストフィルタを装着した全面マスクで作業できるエリアを設定し、作業員の負荷軽減、作業性向上を図る。 全面マスク着用不要化: 空気中放射性物質濃度が全面マスク着用基準を下回ることを確認した上で、全面マスクの着用を不要とするエリアを設定し、作業員の負荷軽減、作業性向上を図る。 一般作業服化: シート養生を行い、定期的な汚染確認を行う車両に乗りずる場合は、一般作業服で移動できるエリアを設定し、作業員の負荷軽減	(実施済みエリア) H24.3.1: 1-4号機及びその周辺建屋内を除く(全域、H24.12.19: 1-4号機及びその周辺建屋内) (実施済みエリア) H23.11.8: 正門・免震重要棟前・5,6号サービス建屋前、H24.6.1: 企業センター厚生棟前、H24.8.9: 車両汚染検査場・降車しない見学者、H24.11.19: 入退域管理施設建設地、H25.1.28: 構内企業棟の一部エリア(東電環境企業棟周辺)、H25.4.8: 多核種除去設備、キャスク仮保管設備、H25.4.15: 構内企業棟の一部エリア(登録センター周辺)、H25.5.30: 1-4号機周辺、タンクエリア、瓦葺保管エリアを除く(エリア、H25.10.7: 5,6号機建屋内、H25.11.11)がれき保管エリア、H26.3.10: 共用プール建屋内の一部エリア、H26.5.30: Jタンクエリア エリア及びへの連続ダストモニタ設置工事 エリア及びのダスト確認 一般作業服化(実施済みエリア) H24.3.1: 正門・免震重要棟前・5,6号サービス建屋前、H24.8.9: 降車しない見学者、H25.6.30: 入退域管理施設周辺、企業センター厚生棟周辺、運転手用汚染測定小屋周辺、												エリア及びの全面マスク着用
2	重傷災害撲滅、全災害発生件数低減対策の実施	(実績) ・協力企業との情報共有 3/19安全推進協議会開催: 作業工程、規制情報の連絡等 ・作業毎の安全施策の実施(TBM-KY等)	情報共有、安全施策の検討・評価												
3	長期健康管理の実施	(実績) ・H26年度対象者(協力企業作業員)への「がん検査」「甲状腺超音波検査」案内に対する、対象者・医療機関等からの問い合わせ対応、及び検査費用の精算手続き(継続) ・インフルエンザ・ノロウイルス感染予防・拡大防止対策(-H26年度末)インフルエンザ予防接種(10/29-1/30)1F新事務棟、近隣医療機関) ・H26年度対象者(社員)への「甲状腺超音波検査」案内及び検査実施(福島: 2/3-19)(本店: 3/10-12)	健康相談受付												
		(予定) ・H27年度対象者(社員)への「がん検査」案内(3月中) ・H27年度対象者(協力企業作業員)への「がん検査」「甲状腺超音波検査」案内に向けた準備	H26年度検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き、H27年度検査案内(社員)及び検査案内準備(協力企業作業員) 内容追加												
4	継続的な医療職の確保と患者搬送の迅速化	(実績) ・1F救急医療室のH27年6月末までの医師確保完了(固定医師1名+ローテーション支援医師)	各医療拠点の体制検討												
		(予定) ・1F救急医療室の恒常的な医師の確保に向けた調整	常勤医師の雇用に向けた関係者との調整												



5	作業員の確保状況と地元雇用率の実態把握	(実績) ・作業員の確保状況と地元雇用率の実態把握(継続的に実施) ・作業員の確保状況(2月実績/4月の予定)と地元雇用率(2月実績)についての調査・集計	作業員の確保状況調査依頼			作業員の確保状況集約			作業員の確保状況集約		
		(予定) ・作業員の確保状況(3月実績/5月の予定)と地元雇用率(3月実績)	作業員の確保状況と地元雇用率の実態把握			作業員の確保状況調査依頼			作業員の確保状況調査依頼		

体感型の訓練の開始について

平成27年3月26日

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所



東京電力

1. 背景 ～人身災害発生状況(H27年3月2日現在)～

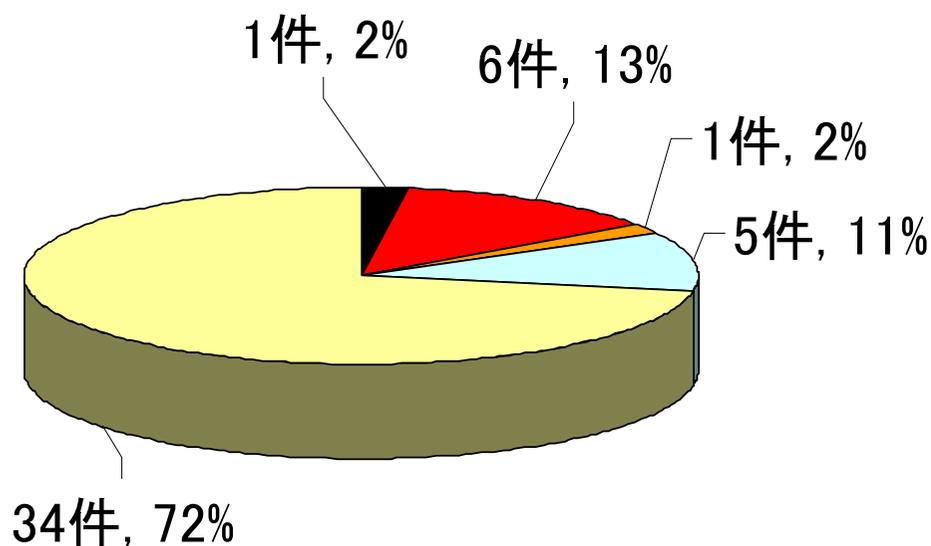
◆今年度、熱中症を除き47件の災害が発生(不休:34件、軽傷Ⅰ:5件、軽症Ⅱ:1件、重傷:6件、死亡:1件)。昨年同時期と比較すると約2.4倍。

◆震災後1Fでの経験年数1年未満の経験の浅い人が全体の84%(39件)を占めている。

→**新規入所者の危険予知能力向上が喫緊の課題**

H26年度 傷害別災害発生状況(熱中症除く)

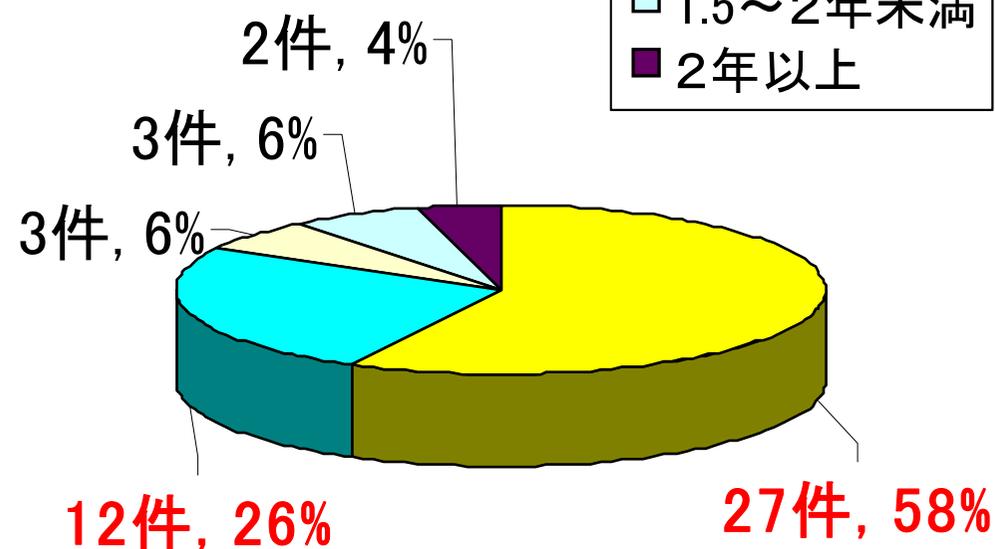
■ 死亡 ■ 重傷 ■ 軽傷Ⅱ ■ 軽傷Ⅰ ■ 不休



H26年度 経験年数*別災害発生状況(熱中症除く)

*震災後の1Fにおける経験年数

■ 0.5年未満 ■ 0.5～1年未満 ■ 1～1.5年未満 ■ 1.5～2年未満 ■ 2年以上



2. 体感型の施設を使った訓練

- ◆「一層の安全を確保するためには、危険を実際に体感することも大切」との考えに基づき、新規入所者を対象として、危険を体感できる体感型の訓練施設を1F新事務棟近傍に設置。
- ◆準備のできた体感項目から順次運用を開始(参考1)。
- ◆次の安全帯使用に係わる危険体感を3月末から運用開始できるよう準備中(参考2)。
 - 落下衝撃力体感
 - 親綱緊張力・ダブルフック歩行体感
 - 安全帯衝撃力体感
 - 安全帯ぶら下がり体感
- ◆なお、これら体感型の訓練施設は、平成28年7月に完成する新訓練施設内に移設予定。
- ◆新訓練施設には、移設した体感項目の他、必要な体感項目を追加して設置する。

3. 設置場所



【参考1】体感項目(案) ～優先12項目～

職種	目的	体感項目	内容(ポイント)	運用開始時期
全職種	被ばく防止	【①】放射線防護装備体感	作業時携行品(作業者証、GB、WID、APD)、タイベック・全面マスク・綿手・ゴム手・靴下・テーピング・アノラック・遮へいベストの装着方法、脱衣方法。	入所時放 管教育に 組み入れ る方向で 実施時期 を検討中。
	汚染拡大防止	【②】汚染拡大体感	放射性物質が衣服等に付着した場合の汚染範囲拡大の様子を擬似体験する。	
	人身災害防止 (全面マスク作業)	【③】作業困難性体感	全面マスク着用した際の視野狭隘、曇り、コミュニケーション、車両運転等時の作業困難性を体験する。	5月
	人身災害防止 (高所作業)	【④】落下衝撃力体感	高所(2m、5m)から人(70kg)が墜落した際の衝撃力がどの程度か体感。	3月末
		【⑤】親綱緊張力・ダブルフック歩行体感	親綱緊張機を張力計測器(電子秤)に掛けて、適正な親綱張力を数字で見えて体験する。また、ダブルフックを使った梁上歩行を体感する。	
		【⑥】安全帯衝撃力体感	安全帯をかける位置によって墜落時に体にかかる荷重がどの程度変わるか体感する。	

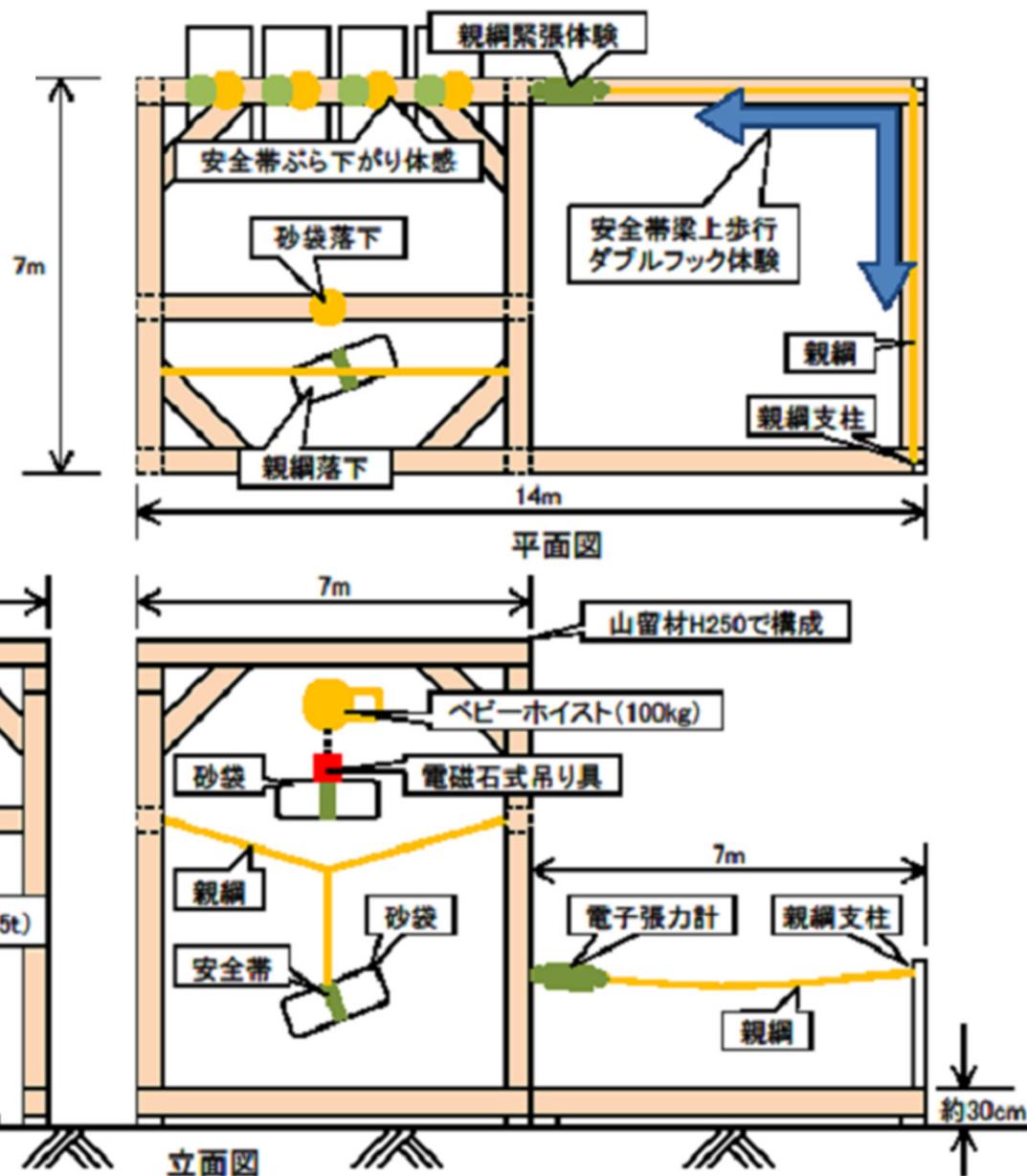
【参考1】体感項目(案) ～優先12項目(続き)～

職種	目的	体感項目	内容(ポイント)	運用開始時期
全職種	人身災害防止 (高所作業)	【⑦】安全带ぶら下がり体感	安全帯の違い(ベルト型、フルハーネス型)による身体負荷を体感する。	3月末
	人身災害防止 (すべり・転倒)	【⑧】滑り・転倒体感	滑りやすい場所でのすべりを体験し、その危険性を体験する。	7月
	人身災害防止 (切れ・こすれ)	【⑨】切れ・こすれ体感	グラインダー、カッター等切削工具使用中における切れ・こすれの危険性を体感する。	
	人身災害防止 (感電)	【⑩】感電衝撃力体感	高電圧部に触れた際の人体への衝撃力を体感(パネル展示)し、高電圧充電部近傍作業の危険性を理解する。	
土工	人身災害防止 (感電)	【⑪】試掘体感	予め埋設された配管、電線管等に対し、探針、試掘(スコップ)を実施し、その感触を身に着ける。	5月
全職種	人身災害防止 (危険予知能力向上)	【⑫】KYT	不適切な箇所がある現場写真を掲示し、少人数で危険箇所を探して発表、危険予知能力を向上させる。	4月(①～⑪の危険体感後、各30分)

【参考2】「安全帯体感設備」概念図

本設備を使って下記の体感を実施。

- 落下衝撃力体感
- 親綱緊張力・ダブルフック歩行体感
- 安全帯緩衝力体感
- 安全帯ぶら下がり体感



福島給食センターの進捗状況

平成27年3月26日
東京電力株式会社



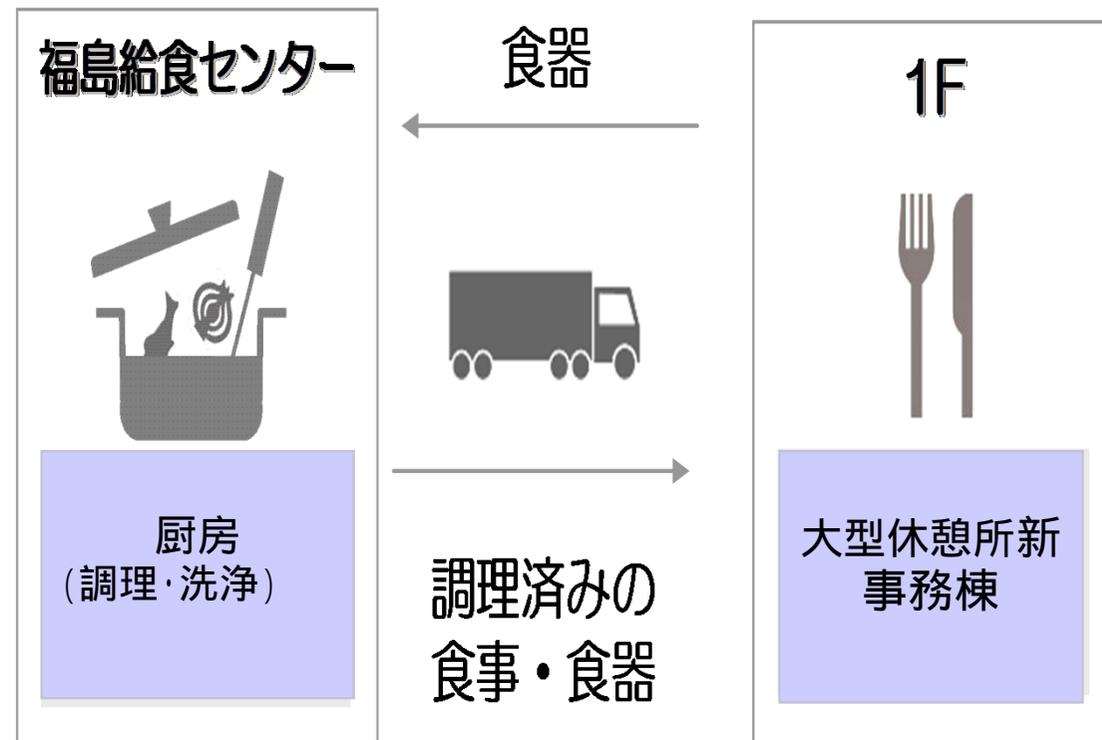
東京電力

1-1. 福島給食センターの進捗状況

建設場所



運営イメージ



- ◆大熊町大川原地区に福島給食センターを建設中
(H27年3月31日完成予定)
- ◆H27年4月中旬、新事務棟食堂スペースを利用し、食事の提供を開始
予定(1,000食/日を目標とする)
- ◆大型休憩所食堂への食事の提供は、H27年6月上旬を予定

1-2. 福島給食センターの進捗状況

【現状】 従業員トレーニング開始



- ◆設置場所 : 双葉郡大熊町大字大川原字南平
- ◆構造種別 : 鉄骨造・2階建
- ◆延床面積 : 約3,500m²
- ◆提供食数 : 約3,000食
- ◆完成時期 : 平成27年3月31日完成予定

1-3. 福島給食センターの給食サンプル

【A定食】



【B定食】



○ 大型休憩所食堂では、定食2種類に加え、丼物、カレー、麺類を提供予定。